AI ブラウザ

JJ1SXA/池

現在、Chrome と Edge は、サイドパネル（サイドバーとも呼ぶ）を開いてチャット AI を呼び出し、AI に質問できる（それ以外のブラウザもだが…）、Chrome は、Gemini in Chrome、Edge は、Copilot in Edge と呼び、それぞれ AI エンジンとしてグーグルは、Gemini、マイクロソフトは、Copilot を使っている。

AI ブラウザの最大の利点は、開いているページについて質問できること、ページ閲覧中に気になることがあったら、ボタン一つでサイドパネルを開き（Chrome は右上の「gemini に相談」、Edge は矢張り右上の「チャット」をクリックでサイドパネルが開く）、そこで質問すれば良い、ウエブ版やアプリ版の AI サービスと違い、対象ページの URL をコピーして質問するという手間が省ける。

グーグルもマイクロソフトもブラウザ版（サイドパネル）とウエブ版の AI を用意していて、加えてグーグル検索には AI モードがある。

それぞれ細かなスペックの違いがあり、利用できる AI モデルやチャット履歴の保存先、音声入力や音声チャットの利用可否などが異なるようだ。

詐欺、偽物、不利な契約等ネットの危険を見抜くのに、ブラウザ版が活用できる、サイドパネル AI は、タブに表示中のウエブページや PDF について質問できるのでうまく利用しよう。

例えばログイン画面で不審に思ったら「安全？」と聞いてみる、URL の安全性などを調べ偽サイトの可能性とその根拠、対処方法も提示される。

偽警告も同様だ、本物かどうか分からない警告や、エラーが表示されたら「本物？」と尋ねると、真偽判定に加え、詐欺画面の見抜き方もアドバイスしてくれる、ネット閲覧中に不安を感じたら、AI に「安全？」、「本物？」と尋ねる習慣を身につけるべきだ。

会員登録などでは長文の利用規約が開いて同意を求められる、読むのは面倒だが、読まないと不安もゼロではない、「大事なところを教えて」とサイドパネル AI に頼むと、解約条件や違約金の有無、第三者への個人情報の提供などの懸念事項をピックアップしてくれる。

サイドパネル AI は、フリーソフトの安全確認にも使える、偽物はもちろん、セキュリティに問題があるならその点を指摘し、過去に起こったマルウエア混入事件も洗い出してくれる。

サイドパネル AI は買い物でも威力を発揮する、特に便利なのが「比較」、複数タブで各種の商品ページを開き横並びで比較できる。

これらの他にも利用価値は数多い、うまくサイドパネル AI を使いこなしましょう、ただ、AI ブラウザに限らず一般にチャット AI サービスは、個人情報が漏洩する危険がある、常にそのリスクを念頭に置いて利用する心掛けが大切だ。

（2026 年 11 月記）